## 児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

公表日:令和2年2月26日

事業所名:戸崎通音楽堂

X	分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
			活動に応じたスペース確	①人数の多い時は少し狭く感じます。本	療育の場面で敷居を作る等、限られたス
			保はできている。	人たちは大丈夫な気がします。	ペース内でなるべく広くスペースを確保
		利田字号に広じれた道訓練完築フペーフ		②部屋で過ごしている様子を見たことが	できるよう工夫していきます。
	1	利用定員に応じた指導訓練室等スペース		ないので。	
		の十分な確保		③見たことがなくてしみません。。。	
環				はい…4 どちらともいえない…4	
境				いいえ…0 分からない…7	
•			基準に適した人員配置は	はい…9 どちらともいえない…2	職員の勤務表を掲示しています。
体	•		できている。	いいえ…0 分からない…4	
制	2	職員の適切な配置			
整					
備		 本人にわかりやすい構造、バリアフリー	トイレ・洗面等のわかり	はい…7 どちらともいえない…1	   学習スペースを必要に応じて作り、集中
		化、情報伝達等に配慮した環境など障害	やすい配置はできてい	いいえ…0 分からない…7	して学習できるようにしている。
		の特性に応じた設備整備	る。		
		清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活 動に合わせた生活空間の確保	毎日の掃除で清潔を保っ	①使う玩具や楽器、共有なのでどこまで	清掃は毎日、児童が帰宅後に行い、楽
	4		ている。テーブル等の除	掃除されているか判りませんが、玩具な	器、玩具の消毒を行います。
			菌も行っている。	どは、感染もあるのでアルコールなど、	
		業務改善を進めるためのPDCAサイクル	定期的なミーティングで		ミーティングだけではなく委員会活動、
	1	(目標設定と振り返り)への職員の積極	振り返りは行っている。		外部研修参加後の全職員への伝達研修も
業		的な参画	日々の申し送り等も行っ		行う。
務		第二老による外部部のお送用した業務が	他施設の方の見学等で意		第三者評価は実施していないが今後も検
改	2	第三者による外部評価を活用した業務改 善の実施	見をもらい、改善すべき		討いていきたい。
盖		百ツ大池	点は改善している。		

	3	職員の資質の向上を行うための研修機会 の確保	外部研修へ積極的に参加 している。終了後は、他		外部研修への積極的参加、外部研修後の 全職員への研修を行い資質の向上を図り
		-> LIT NIV	の職員等にも内容を伝え		ます。
適	1	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した		はい…40 どちらともいえない…3 いいえ…0 分からない…3	事業所内全職員参加でのケース会議の開催、親御さん、関係事業所、学校を交え ての会議を行うだけではなく、日々の
切な支		上での児童発達支援計画又は放課後等デ イサービス計画の作成	基本とした計画書の作成 をしている。		様々な場面での親御さんとのやりとり、 送迎時での先生からの情報収集も常に実
又援の提	2	子どもの状況に応じ、かつ個別活動と集 団活動を適宜組み合わせた児童発達支援 又は放課後等デイサービス計画の作成	日々の記録としてケース 記録を作成している。6 か月ごとにモニタリング		施して児童が利用した際に楽しい思い出が残せるよう療育・音楽療法に尽力致します。
供	3	児童発達支援計画又は放課後等デイサー ビス計画における子どもの支援に必要な 項目の設定及び具体的な支援内容の記載	療育・音楽・製作の取り 組みの支援内容を記載を し、計画書の作成をして		
	4	児童発達支援計画又は放課後等デイサー ビス計画に沿った適切な支援の実施	支援計画に沿った支援を 実施している。	はい…9 どちらともいえない…3 いいえ…1 分からない…2	支援計画に沿った支援を心がけています。
	5	チーム全体での活動プログラムの立案	全職員で予定の立案や計 画を 行っている。	はい…3 どちらともいえない…1 いいえ…1 分からない…9	行事、外出等は全職員で企画・運営して います。
適切,	6	平日、休日、長期休暇に応じたきめ細や かな支援	長期休日や土曜日は、平 日では取り組めないお出 かけやランチクッキング 等を取り入れて支援して		長時間児童が過ごす際は、飽きなくて、 楽しく過ごせる工夫を行います。 (クッ キングメニューのリクエストを聞く等)

ナト				
な			平日の活動でおやつクッ	活動プログラムは、全職員で検討して同
支	7	活動プログラムが固定化しないような工 夫の実施	キングを取り入れるな	じプログラムの繰り返しを防いでいきま
援	,		ど、毎日の活動が固定し	す。
の			ないよう工夫実施してい	
提			児童が来所するまでに、	児童の来所前の日々のミーティングで送
供	8	支援開始前における職員間でその日の支	その日の担当児童・療育	迎の段取り、申し送り事項の伝達を行っ
	δ	援内容や役割分担についての確認の徹底	内容を職員間で確認して	ています。
続			いる。	
き		1 5 th 7 th 1 1 1 2 th 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	児童の変化や様子をケー	クラウドデータでのケース記録の閲覧が
<u> </u>	0	支援終了後における職員間でその日行わ	ス記録へ記入し、職員が	瞬時に全職員ができるシステムを採用し
		れた支援の振り返りと気付いた点などの 情報の共有化	いつでも見れるようにし	ているので情報の共有化はできていま
			ている。ケース記録の毎	す。
	()	日々の支援に関しての正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	グループライン等で情報	ケース記録を入力するシステムが、PCに
			の共有化をしている。業	入れるまでもなく、携帯電話から気づい
			務日報にて記録もしてい	たときに入力できるしすてむであるため
			る。	記録の漏れを防ぎ、児童の様子を明確に
		定期的なモニタリングの実施及び児童発 達支援計画又は放課後等デイサービス計	6か月ごとのモニタリン	定期的なモニタリングを実施してよ
			グを行い、計画書の見直	  り良い療育へつなげていく事を行っ
			しをし本計画へとつなげ	しています。
		画の見直し	ている。	
		子どもの状況に精通した最もふさわしい	相談支援事業所から連絡	担当者会議への参加は必ず行ってい
		者による障害児相談支援事業所のサービ	があれば担当者会議への	ます。
			参加は行っている。	
		(医療的ケアが必要な子どもや重症心身	該当する児童がいない。	該当する児童がいません。
	2	障害のある子ども等を支援している場		
		合)		
		地域の保健、医療、障害福祉、保育、教		

			(医療的ケアが必要な子どもや重症心身	該当する児童がいない。		該当する児童がいません。
		3	障害のある子ども等を支援している場			
			合)			
	L		子どもの主治医や協力医療機関等と連絡			
厚	€		児童発達支援事業所からの円滑な移行支	児童の担任の先生からの		何例かの見学を受けて放課後塔デイ
存	系	4	援のため、保育所や認定こども園、幼稚	要望があれば、見学訪問		サービスの雰囲気や療育内容を説明
核	幾		園、小学校、特別支援学校(小学部)等	の受け入れをしている。		して参考にして頂いています。
厚	-		との間での支援内容等の十分な情報共有	何か問題が起きれば学校		
٤	_		放課後等デイサービスからの円滑な移行	親御さんからの要望が		現在まで事例はありませんが要望が
0	0	5	支援のため、学校を卒業後、障害福祉	あった際は、情報の提供		あれば必要な情報提供は行います。
连	重		サービス事業所等に対するそれまでの支	を行っている。		
担	<b></b>		援内容等についての十分な情報提供、			
			児童発達支援センターや発達障害者支援	必要な児童には連携を		当該機関の連絡会への積極的参加を
		6	センター等の専門機関と連携や、専門機	行っている。研修の参加		行っています。
			関での研修の受講の促進	もしている。		
	<u> </u>			A /		
			児等発達支援の場合の保育所や認定こど	今現在はありません。 		現在は実施していませんが、近隣の
		7 I	も園、幼稚園等との交流や、放課後等デ			放課後等デイサービス事業所との勉
			イサービスの場合の放課後児童クラブや			強会は企画しています。
	_		児童館との交流など、障害のない子ども			
				ボランティアの方に第三		クリスマス会への老人会の参加は毎
		8	子木//1の日子 10/10% 住民の旧内は C10			年恒例行事で実施しています。
			域に開かれた事業の運営	童の為に来所していただ		
				いている。		
			ナゼの中南 利田大名和祭についてのエ	見学時に支援内容よ説明	はい…13 どちらともいえない…1	契約時には当然ではありますが、問
		1	支援の内容、利用者負担等についての丁	している。利用者負担金	いいえ…0 分からない…1	い合わせがあれば説明を行っていま
		_	寧iな説明	は書面でお渡ししてい		す。
						· ·

				1		T
			児童発達支援計画又は放課後等デイサー	_	はい…12 どちらともいえない…2	計画作成時には内容の説明を行って
		2	ビス計画を示しながらの支援内容の丁寧	<b>ే</b> .	いいえ…0 分からない…1	います。
			な説明			
			保護者の対応力の向上を図る観点から、	実施していない。	①こちらからよく聞いてもらってま	今後はより質の高い当該トレーニン
1	呆	3	保護者に対するペアレント・トレーニング 等の支援の実施		す。  ②あれば受けたいです。	グが実施できる職員の要請も行って
護					はい…3 どちらともいえない…4	いきます。
	支 <b>-</b>		7 184 - 204 - 4000 - 1100	送迎時や連絡帳等で、来	はい…12 どちらともいえない…1	送迎時だけではなく、日常から開か
		4	子どもの発達の状況や課題について、日	所時の様子をお伝えして	いいえ…0 分からない…2	れた雰囲気で話し合いができる状況
	へ カ L		頃から保護者との共通理解の徹底	いる。問題がある場合		づくりに一層努力致します。
	グ 説			必要に応じて電話等で相	はい…10 どちらともいえない…2	管理者以外でも全職員が相談を受
	-	5	保護者からの子育ての悩み等に対する相 談への適切な対応と必要な助言の実施	談を受けている。学校と	いいえ…1 分からない…2	け、自身で解決できない場合は事業
	月			の連携をとる場合もあ		   所、法人内での話し合いを行い問題
<b>J</b>	<b>責</b> -		父母の会の活動の支援や、保護者会の開 催による保護者同士の連携支援	保護者会等は、行ってい	①クリスマスコンサートなど	保護者会は実施していませんが、今
\- <u>-</u>		6		ない。	はい…1 どちらともいえない…5	後の課題としていきます。
	車 集 上				いいえ…5 分からない…4	
	元 支		子どもや保護者からの苦情に対する対応	契約書に苦情相談窓口の	はい…14 どちらともいえない…0	苦情の受付は明確な記録、全職員の
		7	体制整備や、子どもや保護者に周知及び	明記している。直接、苦	いいえ…0 分からない…1	情報共有、大きな問題は行政への相
17	爰		苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	情があった際は、迅速な		談、苦情主への誠実な対応またはで
				個々にあったコミュニ	①どこまでの情報伝達かわからず、	コミュニケーションが難しい児童へ
		0	障害のある子どもや保護者との意思の疎 通や情報伝達のための配慮	ケーションで意思の疎通	毎日のノートの事なのかそれ以上な	絵カードの使用等、視覚での伝達を
		8		を行っている。	のかわからず、両方付けました。	  心がけて児童の重いが伝わらないで
					はい…12 どちらともいえない…3	   不満に思うことができるだけないよ
			定期的な会報等の発行、活動概要や行事	ホームページで行事予定	はい…10 どちらともいえない…1	ホームページでの情報提供に加えて
		9	予定、連絡体制等の情報についての子ど	を更新している。連絡帳	いいえ…1 分からない…3	ブログ等のSNSも有効に使用して情
			もや保護者への発信	にも必要に応じて記載し		   報のわかりやすい伝達も今後も続け
				ļ		1 = 1 :: 1 :: 10 ::

	10	個人情報の取扱いに対する十分な対応		はい…11 どちらともいえない…0 いいえ…0 分からない…4	上記にあるホームページ、ブログで で掲載する写真を使用する際には充 分に注意しています。また、事前に
	1	緊急時対応マニュアル、防犯マニュア ル、感染症対応マニュアルの策定と、職 員や保護者への周知徹底	マニュアル作成してい る。	①見たこと、参加したことがないので、聞いたこと(今日やったことなど)判りません。 はい…6 どちらともいえない…1 い	マニュアルの完備、研修会での職員への周知徹底を行っています。
	2	非常災害の発生に備えた、定期的に避 難、救出その他必要な訓練の実施	年2回、避難訓練を実施 している。	はい…7 どちらともいえない…0 いいえ…1 分からない…7	火災だけではなく、地震、津波と想 定する災害の種類を変えて避難ルー トを実際に児童と移動して訓練を 行っています。
非常時等	3	虐待を防止するための職員研修機の確保 等の適切な対応	年1回、職員研修を実施 している。		職員で構成する虐待防止委員会を必ず全員参加で実施しています。講師 役の職員は外部研修等へ参加して他 の職員へ伝達する形式をとっていま
等の対応		やむを得ず身体拘束を行う場合における 組織的な決定と、子どもや保護者に事前 に十分に説明・・了解を得た上での児童 発達支援計画又は放課後等デイサービス 計画への記載	今まで該当なし。		身体拘束は行ったことがありませ ん。
	5	食物アレルギーのある子どもに対する医 師の指示書に基づく適切な対応	親御さんから面談時にアレルギーの有無は確認している。医師の指示書がいるほどの該当者はいない		事前にアレルギーの情報は収集しています。今のところ医師の指示書が必要な重篤なアレルギーのある児童の利用はありません。

	6	ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内 での共有の徹底	職員間で情報の共有をし 防止策の検討を行ってい る。		ひやりはっとの事案はあれば翌日の ミーティング(全事業所の代表が参 加している)で確認されその後、各 事業所へ伝達されています。
満足度	1	子供は通所を楽しみにしているか		はい…12 どちらともいえない…1 いいえ…0 分からない…2	参加している児童はアフリカの打楽 器のジャンベを演奏する時間を楽し みしています。珍しい楽器でありま すが誰でも演奏しやすい楽器です。 思いっきり叩いて楽しんでいます。
	2	事業所の支援に満足しているか	満足しておられる親御さんやそうではない親御さんもおられると思います。	はい…13 どちらともいえない…1 いいえ…0 分からない…1	参加している児童は笑顔で帰られる ので満足されているとは思いますが 実際にアンケート等で親御さんの満 足度を確認する必要はあると思いま す。